

芹沢銈介の 文字



2022年 7/5(火)⇒9/23(金・祝)

静岡市立 芹沢銈介美術館

静岡市駿河区登呂五丁目 10-5 (登呂公園内)
TEL ▶ 054-282-5522 HP ▶ www.seribi.jp
Twitter ▶ @seribi_shizuoka (フォローはこちら⇒)



(上から順に)「いろは文字文帯地」(1958)、型染うちわ「花の字」(1958頃)、カルトン「山水の字」(1955頃)、型染カレンダー「昭和27年7月」(1951)

令 和4年度2つ目の展覧会では、芹沢銑介の仕事の中でも人気の高い「文字表現」に焦点を当てます。祖父や父の影響で若い頃から書を得意としていた芹沢は、30代から型染の道へ進み様々な題材を手がけました。その中で文字は大きな位置を占めており、のれん、着物、屏風などの代表作には、漢字やひらがなを取り上げたものが数多く見られます。躍動感あふれる芹沢銑介の文字は、今も多くの人を魅了し続けています。

また芹沢が一翼を担った民藝運動でも、文字デザインを数多く手がけました。これにより芹沢の独特な文字表現が多くの人の目に触れることとなり、芹沢の文字は一般に広く知られるようになりました。

本展では芹沢の多彩な仕事のジャンルから、文字作品 100 点を取り上げてご紹介します。



芹沢銑介収集 朝鮮民画 文字図「廉」

同時開催

芹沢銑介の収集品より

「朝鮮民画」

後半の展示室3室では、芹沢銑介が集めた朝鮮民画を特集します。芹沢の作品にも影響を与えた「文字図」や「文房図」など、優れた朝鮮民画コレクションをどうぞお楽しみください。

【開館時間】9:00～16:30

【休館日】毎週月曜日（7/18、9/19は開館）、7/19、8/12、9/20

【観覧料】一般420円/高校生・大学生260円/小学生・中学生100円/未就学児無料

（団体割引は30名以上でご利用いただけます）

※静岡市内在住の70歳以上の方・小中学生（通学含む）無料

※障がい者手帳等の提示により本人及び同伴者1名無料

【交通】

<バス> 静岡駅南口 22 番バスのりばから「登呂遺跡」行き乗車、約 10 分終点下車
<タクシー> 静岡駅南口から登呂公園へ約 10 分

<東名高速> 静岡 I.C. または日本平久能山スマート I.C. より約 10 分

<駐車場> 登呂公園南側に有料駐車場があります（普通車 400 円/1 日）

●ワークショップなどのイベントを開催する予定です。詳しくはホームページや Twitter をご覧ください。
●新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力をお願いします。

- 1 「いろは文字文間仕切」(1958)
- 2 型染うちわ「いろは」(1958)
- 3 「いろは文字文帯地」(1958)
- 4 「いろは文二曲屏風」(1973)
- 5 「飛の字」(1961 ころ)



静岡市立芹沢銑介美術館

静岡市駿河区登呂五丁目 10-5（登呂公園内）TEL ▶ 054-282-5522
HP ▶ www.seribi.jp Twitter ▶ @seribi_shizuoka（フォローはこちら⇒）

